

令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！ ～国土交通省関係では、1個人及び35団体が受賞～

令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰[※]の受賞者（9個人、76団体）を内閣府において、決定しました。このうち国土交通省関係は、土砂災害防止活動、豪雨災害に対する水防活動、緊急災害対策活動（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）に著しい功績があったとして、1個人及び35団体が表彰されることになりました。

なお、表彰式の日程等については、内閣府から別途発表があります。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

国土交通省関係の受賞者（1個人及び35団体）

（1）土砂災害防止活動関係・・・1個人及び1団体

[防災体制の整備]

- ・北海道大学 名誉教授

またにもみ
丸谷 知己 <北海道>

[災害現場での顕著な防災活動]

（令和元年東日本台風）

- ・砂防ボランティア岩手県協会 <岩手県>

（2）水防活動関係・・・29団体

[災害現場での顕著な防災活動]

（令和元年8月の前線に伴う大雨）

- ・武雄市消防団 <佐賀県>

おおまちちょう
・大町町消防団 <佐賀県>

（令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等）

- ・神崎町消防団 <千葉県>

(令和元年東日本台風)

- ・ 久慈市消防団 <岩手県>
くじし
- ・ 丸森町消防団 <宮城県>
まるもりまち
- ・ 大崎市消防団 <宮城県>
おおさきし
- ・ 大郷町消防団 <宮城県>
おおさとちょう
- ・ 鏡石町消防団 <福島県>
かがみいしまち
- ・ 郡山市消防団 <福島県>
こおりやまし
- ・ 大子町消防団 <茨城県>
だいごまち
- ・ 常陸大宮市消防団 <茨城県>
ひたちおおみやし
- ・ 常陸太田市消防団 <茨城県>
ひたちおおたし
- ・ 城里町消防団 <茨城県>
しろさとまち
- ・ 水戸市消防団 <茨城県>
みとし
- ・ 境町消防団 <茨城県>
さかいまち
- ・ 那珂市消防団 <茨城県>
なかし
- ・ 栃木市消防団 <栃木県>
とちぎし
- ・ 小山市消防団 <栃木県>
おやまし
- ・ 比企広域市町村圏組合東松山消防団 <埼玉県>
ひきこういきしちょうそんけんくみあいひがしまつやま
- ・ 坂戸市水防団 <埼玉県>
さかどし
- ・ 調布市消防団 <東京都>
ちょうふし
- ・ 長野市消防団 <長野県>
ながのし
- ・ 飯山市消防団 <長野県>
いいやまし
- ・ 千曲市消防団 <長野県>
ちくまし
- ・ 東御市消防団 <長野県>
とうみし
- ・ 上田市消防団 <長野県>
うえだし
- ・ 佐久市消防団 <長野県>
さくし
- ・ 須坂市消防団 <長野県>
すざかし

(令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨)

- ・ 佐倉市消防団 <千葉県>
さくらし

(3) 緊急災害対策活動関係(TEC-FORCEによる被災自治体支援活動)・・・5団体

[災害現場での顕著な防災活動]

(令和元年8月の前線に伴う大雨、房総半島台風、東日本台風等)

- ・国土交通省 緊急災害対策派遣隊
- ・国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
緊急災害対策派遣隊

(令和元年房総半島台風、東日本台風等)

- ・国立研究開発法人建築研究所 緊急災害対策派遣隊

(令和元年東日本台風等)

- ・内閣府沖縄総合事務局 緊急災害対策派遣隊

(令和元年8月の前線に伴う大雨、東日本台風等)

- ・国立研究開発法人土木研究所 緊急災害対策派遣隊

【問い合わせ先】国土交通省 水管理・国土保全局 代表 03-5253-8111

(1) 土砂災害防止活動関係

砂防部 砂防計画課 菊池、野口 (内線 36122, 36165)
直通 03-5253-8466, Fax03-5253-1610

(2) 水防活動関係

河川環境課 水防企画室 関澤、道原 (内線 35452, 35455)
直通 03-5253-8460, Fax03-5253-1603

(3) 緊急災害対策活動関係 (TEC-FORCE 関係)

防災課 災害対策室 小林、和田 (内線 35822, 35824)
直通 03-5253-8461, Fax03-5253-1608

功 績 概 要

(1) 土砂災害防止活動関係

個人〔防災体制の整備〕

氏 名	まるたに ともみ 丸谷 知己
職 業	北海道大学 名誉教授
功績の概要	<p>氏は、砂防学に多数の研究業績を上げてこられた。中でも、上流域から下流域まで含めた流域全体における土砂の流出プロセスや国内外の火山地域における火山特有の土砂移動現象について長期間にわたり調査・研究に携わり、多くの成果を発表された。そして、それらの知見は土砂災害を研究していく上で多くの研究者に示唆を与えるとともに、火山地域における土砂災害防止対策の検討に活用されている。</p> <p>特に、火山活動が活発な地域における、溪流の急激な地形変化に関する現地観測や地形学的・土砂水理学的解析に関する研究成果は、噴火後の土砂災害対策計画立案に必要な、土砂流出量の時間的変化予測における重要な知見となっており、氏はその知見を生かし、十勝岳、樽前山、雌阿寒岳等、多くの火山における砂防計画の検討委員会の委員長を務め、火山噴火緊急減災対策砂防計画等の策定に貢献している。</p> <p>国や地方自治体はこれらの計画に基づき、砂防事業の推進や必要な資機材の準備等を進めており、住民や観光客の安全・安心につながっている。</p> <p>学術関係では、砂防学会会長等の要職を歴任され、大規模災害発生時に緊急調査団を編成し、調査結果を踏まえた緊急提言を行うとともに、砂防学会英文誌の創設や国際的な研究発表会の共催等、国際的な土砂災害研究の発展に貢献している。</p> <p>さらに近年では砂防学の入門的教科書の編纂を行い、砂防学の門戸を開き次世代の砂防研究や砂防行政の担い手育成に精力的に取り組む等、その評価は極めて高い。</p>

団体〔災害時の防災活動〕

(令和元年東日本台風)

名 称	砂防ボランティア岩手県協会
所在地	岩手県盛岡市
代表者	会長 野中 聡
功績の概要	<p>同協会は、平成9年から23年間にわたり、毎年6月の土砂災害防止月間の期間中に県や市町村職員、地域住民と協働して土砂災害危険箇所や砂防施設の点検を実施するとともに、平成20年岩手宮城内陸地震、平成23年東日本大震災津波、平成28年台風第10号等の災害時に緊急点検を実施するなど、土砂災害防止に尽力した。</p> <p>特に、令和元年東日本台風に際し、岩手県からの緊急の要請を受け、10月21日から11月5日の16日間にかけて、延べ40名が出動し、急峻な地形や流出土砂などにより現地の確認が困難な状況下において、111箇所の緊急点検を実施した。これらの点検結果は、速やかな土砂災害の発生状況や二次的な土砂災害の危険性把握や応急対応、及び市町村の警戒避難体制の構築に役立てられ、地域住民の生命及び身体の保護に多大な貢献をした。</p>

(2) 水防活動関係

団体〔災害時の防災活動〕

(令和元年8月の前線に伴う大雨)

名称	武雄市消防団
所在地	佐賀県武雄市
代表者	団長 小池 誠
功績の概要	令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、3日間にわたり、延べ1,095名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民215名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名称	大町町消防団
所在地	佐賀県杵島郡大町町
代表者	団長 亀川 義人
功績の概要	令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、15日間にわたり、延べ284名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等)

名称	神崎町消防団
所在地	千葉県香取郡神崎町
代表者	団長 遠藤 栄治
功績の概要	令和元年房総半島台風に際し4日間56名、令和元年東日本台風に際し2日間225名、10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し1日間9名の計7日間にわたって、延べ290名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(令和元年東日本台風)

名称	久慈市消防団
所在地	岩手県久慈市
代表者	団長 廣崎 康一
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、5日間にわたり、延べ1,488名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民1名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名称	丸森町消防団
所在地	宮城県伊具郡丸森町
代表者	団長 向井 裕壽
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、35日間にわたり、延べ1,724名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民97名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	大崎市消防団
所在地	宮城県大崎市
代表者	団長 菅原 董悦
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、延べ1,352名が土のう積み工、月の輪工、木流し工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	大郷町消防団
所在地	宮城県黒川郡大郷町
代表者	団長 鈴木 安則
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、4日間にわたり、延べ692名が河川等の警戒巡視とともに、住民の避難誘導、住民26名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	鏡石町消防団
所在地	福島県岩瀬郡鏡石町
代表者	団長 稲田 幸吉
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ171名が河川等の警戒巡視とともに、住民の避難誘導、住民9名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	郡山市消防団
所在地	福島県郡山市
代表者	団長 渡邊 昭一
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ2,456名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	大子町消防団
所在地	茨城県久慈郡大子町
代表者	団長 藤田 稔
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ1,082名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民3名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	常陸大宮市消防団
所在地	茨城県常陸大宮市
代表者	団長 岡山 勝彦
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ1,600名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民61名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	常陸太田市消防団
所在地	茨城県常陸太田市
代表者	団長 大畠 邦幸
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ738名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民19名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	城里町消防団
所在地	茨城県東茨城郡城里町
代表者	団長 森田 宏二
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ519名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民44名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした

名 称	水戸市消防団
所在地	茨城県水戸市
代表者	団長 渡長 勝男
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ453名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	境町消防団
所在地	茨城県猿島郡境町
代表者	団長 加藤 正則
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ129名が河川等の警戒巡視とともに、住民の避難誘導、住民21名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	那珂市消防団
所在地	茨城県那珂市
代表者	団長 住谷 啓二
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ107名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民4名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	栃木市消防団
所在地	栃木県栃木市
代表者	団長 大豆生田 隆
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ1,803名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民58名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	小山市消防団
所在地	栃木県小山市
代表者	団長 稲葉 茂
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ1,498名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民2名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	比企広域市町村圏組合東松山消防団
所在地	埼玉県東松山市
代表者	団長 新井 芳信
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ110名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	坂戸市水防団
所在地	埼玉県坂戸市
代表者	団長 大澤 勝
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ332名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	調布市消防団
所在地	東京都調布市
代表者	団長 小津 浩彦
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ550名が河川等の警戒巡視とともに、排水活動、住民の避難誘導、住民4名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	長野市消防団
所在地	長野県長野市
代表者	団長 中村 庄市
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、5日間にわたり、延べ2,306名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民4名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	飯山市消防団
所在地	長野県飯山市
代表者	団長 出澤 重樹
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、5日間にわたり、延べ908名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民35名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	千曲市消防団
所在地	長野県千曲市
代表者	団長 武井 郁郎
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ412名が土のう積み工、月の輪工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民21名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	東御市消防団
所在地	長野県東御市
代表者	団長 町田 佳彦
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ749名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	上田市消防団
所在地	長野県上田市
代表者	団長 矢島 昭徳
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、4日間にわたり、延べ1,605名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	佐久市消防団
所在地	長野県佐久市
代表者	団長 森泉 武夫
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、16日間にわたり、延べ1,233名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	須坂市消防団
所在地	長野県須坂市
代表者	団長 中村 公彦
功績の概要	令和元年東日本台風に際し、16日間にわたり、延べ952名が土のう積み工、月の輪工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門操作、住民84名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨)

名 称	佐倉市消防団
所在地	千葉県佐倉市
代表者	団長 齋藤 達弥
功績の概要	令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、3日間にわたり、延べ644名が河川等の警戒巡視とともに、排水活動、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(3) 緊急災害対策活動関係

団体〔災害時の防災活動〕

(令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等)

名称	国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	隊長 奥田 泰雄、中島 昌一
功績の概要	<p>国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊は、令和元年房総半島台風に際し、建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、市原市役所での窓ガラス等の被害状況と発災後の応急対応状況および千葉県内の内房地域、東京都内の島嶼部を対象に、それぞれ木造建築物や低層の店舗等を中心に被害状況の調査を行った。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、東日本台風の接近に伴い発生した千葉県市原市の竜巻について建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、木造住宅や公共建築物の被害状況について調査を実施した。</p>

(令和元年東日本台風等)

名称	内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊
所在地	沖縄県那覇市
代表者	隊長 新城 晴伸
功績の概要	<p>内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊は、東日本を中心に広い範囲で記録的な暴風雨及び豪雨となった令和元年東日本台風及び10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10人の緊急災害対策派遣隊を派遣した（令和元年10月21日～令和元年10月30日）。</p> <p>自治体所管施設の被害状況調査を実施し、その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることとなり、その功績は顕著であると認められる。</p>

(令和元年8月の前線に伴う大雨、令和元年東日本台風等)

名称	国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	隊長 宮武 裕昭
功績の概要	<p>国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊は、「令和元年8月の前線に伴う大雨」及び「令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨」による災害に対応するために、5日間にわたり、延べ8名の専門家を派遣し、土砂崩れ、道路災害、堤防決壊の被災要因の解明や復旧等について技術指導を実施し、被災地の早期復旧に大きく貢献した。</p>

(令和元年8月の前線に伴う大雨、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等)

名称	国土交通省緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区
代表者	隊長 菱田 晃
功績の概要	<p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、8月26日から9月20日の約1ヶ月にわたり活動し、全国からのべ1,651名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。激甚災害指定に係る所要時間の短縮に貢献するとともに、土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援や住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>令和元年房総半島台風に際し、9月6日から10月10日の1ヶ月以上にわたり活動し、全国からのべ1,237名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10月10日から12月27日の2ヶ月以上にわたり活動し、全国からのべ30,409名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。激甚災害指定に係る所要時間の短縮に貢献するとともに、土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援や住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p>

名称	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	神奈川県横須賀市
代表者	隊長 稲田 雅裕
功績の概要	<p>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、8月30日～31日に隊員2名を派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省及び九州地方整備局へ報告した。</p> <p>令和元年房総半島台風に際し、7名を9月10日、4名を9月14日に派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省及び関東地方整備局へ報告した。また、後に開催された技術検討委員会等に委員として参画し、技術的指導を行ったことにより、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10月13日に緊急災害対策派遣隊2名を派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省、関東地方整備局及び横浜市へ報告した。また、復旧工事に当たっては技術指導を行ったことにより、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p>